

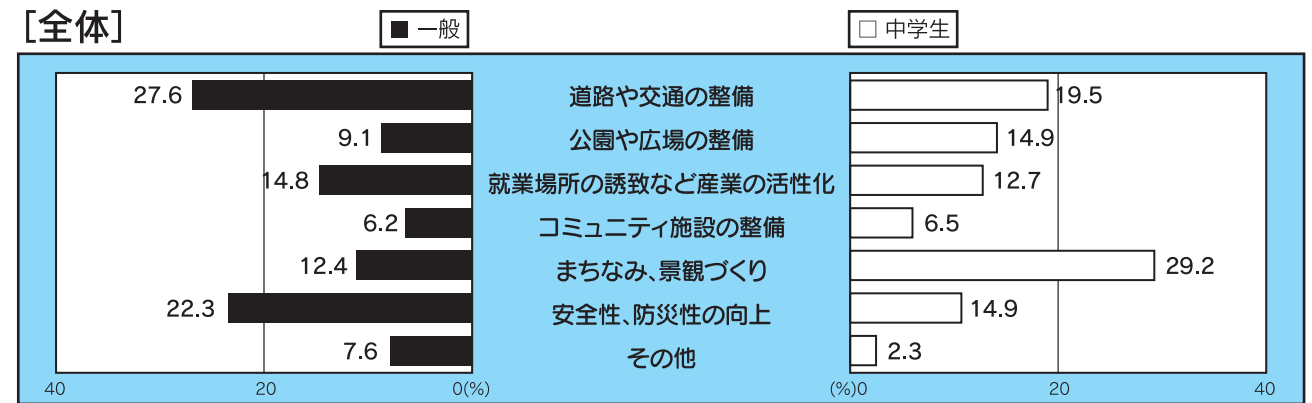
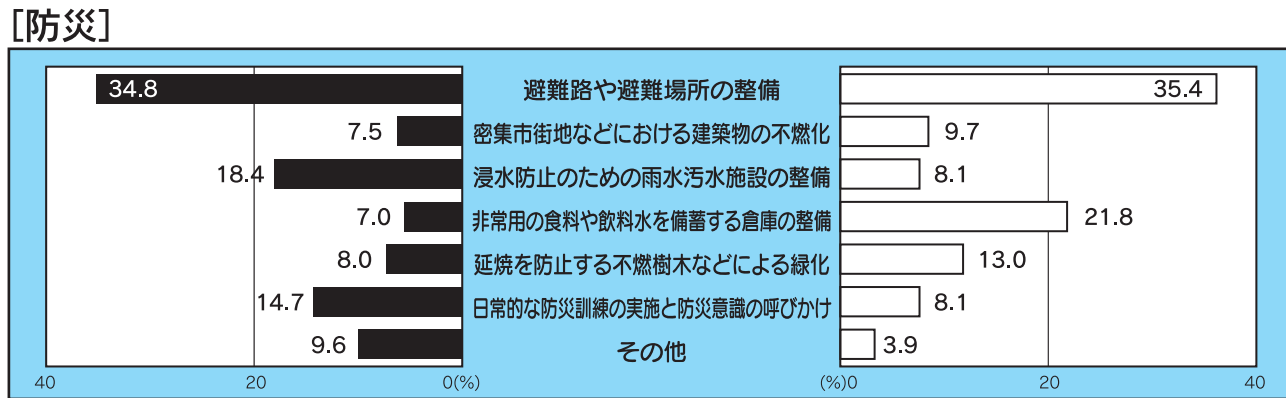
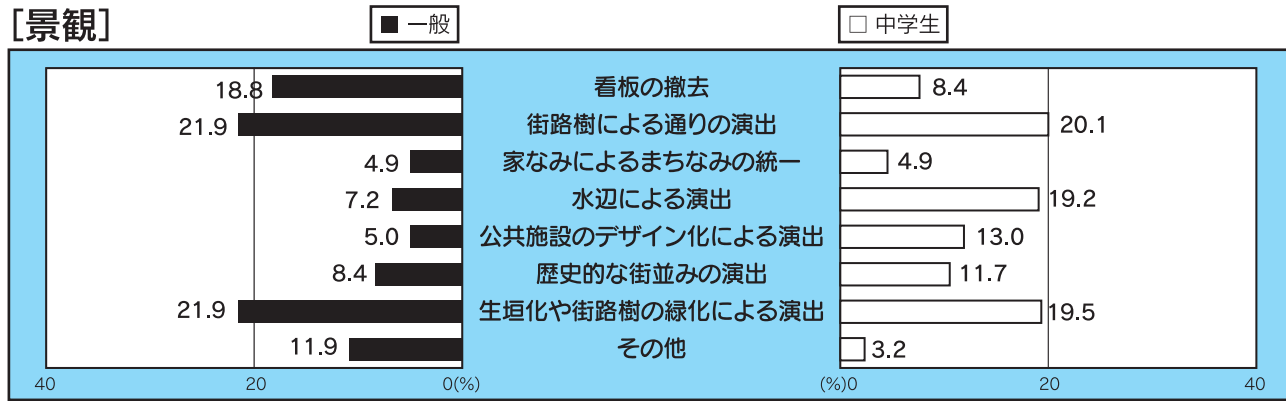
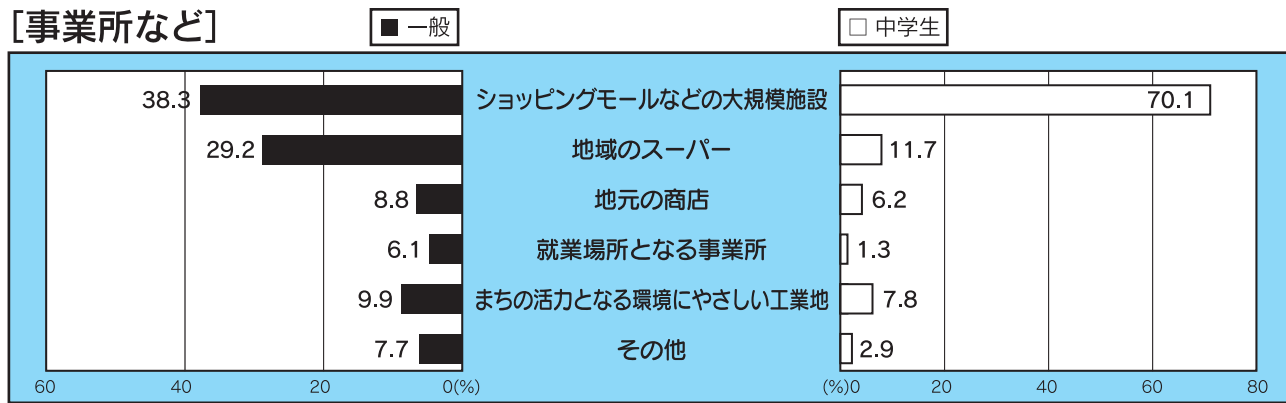
# まちづくりに関する アンケート調査結果報告

▽問5 今後行いたい施策

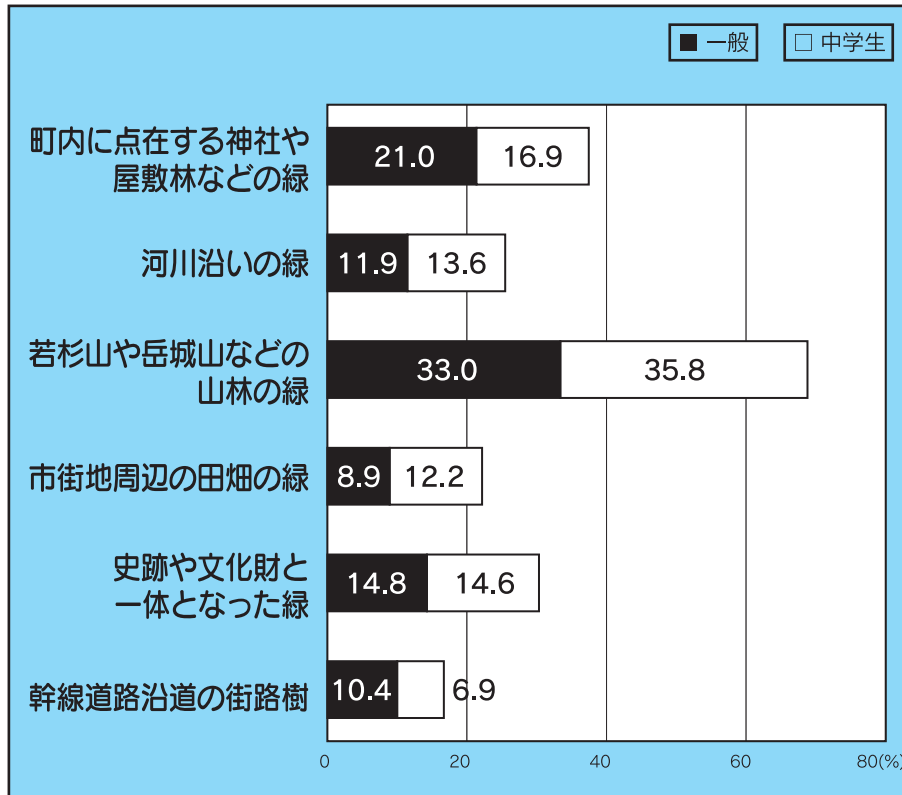
全体では、「道路や交通の整備」、「まちなみ・景観づくり」、「安全性、防災性の向上」が多い。詳細項目では、「安全に歩行できる歩道」、「街路樹による通りの演出」、「避難場所・避難施設の整備」などが望まれている。

住み良い環境を創出するため、今後行うまちづくりの施策は「道路や交通の整備」が47.1%と最も多く、次に「まちなみ・景観づくり」が41.6%、「安全性、防災性の向上」が37.2%となっています。中でも「まちなみ・景観づくり」は、中学生の割合が非常に多くなっています。

詳細では「歩道」や「大規模商業施設」、「避難路・避難場所」の整備が非常に多く、「公園・運動場」、「景観」では意向が分散しています。



▼残しておきたいみどり



▽問6 残しておきたいみどり

「若杉山や岳城山などの山林の緑」が最も多い。

残しておきたいみどりは、「若杉山や岳城山などの山林の緑」が最も多く、須恵町の原風景として親しまれています。

また「町内に点在する神社や屋敷林などの緑」、「史跡や文化財と一体となった緑」も、多くなっています。

